



# ひまわり & WVI システムトレード・オープン

デイトレードアルゴリズムにより

絶対収益追求と

高度なリスク管理を可能にした

完全自動運用プログラムファンド

■ お申込みは

 ひまわり証券

ひまわり証券株式会社  
金融商品取引業 関東財務局長(金商)第150号  
社団法人金融先物取引業協会 社団法人日本証券業協会

■ 管理会社

 **EIGER**  
Eiger Management Ltd.

アイガー・マネジメント・リミテッド

# デイトレードアルゴリズムによる絶対収益追求と高度なリスク管理

1

株式市場が低調の時期においても良好なリターンが期待できます。

- ▶ 運用対象は株価指数先物(日経225先物・TOPIX先物)、為替(米ドル/円・ユーロ/米ドル)としロング(買い)とショート(空売り)を活用して上昇・下落相場双方で絶対収益を追求します。
- ▶ 株価指数先物6システム、為替5システムの合計11システムが各々異なる運用特性を発揮してアルゴリズム取引を行います。

2

リスクを限定する仕組みを備えています。

- ▶ 前月の純資産総額に対する毎月の最大下落率(ドローダウン率)が一定水準に達したら運用を停止するなど、損失を一定範囲内に抑えるように設定されています。なお、2006/1/1~2010/5/31の試算では、最大下落率(ドローダウン率)は6.09%でした。
- ▶ すべての売買システムはデイトレード専用であり、原則として持高(ポジション)を翌日に持ち越さず、リスクの累積化を防ぎます。

3

高い流動性を確保します。

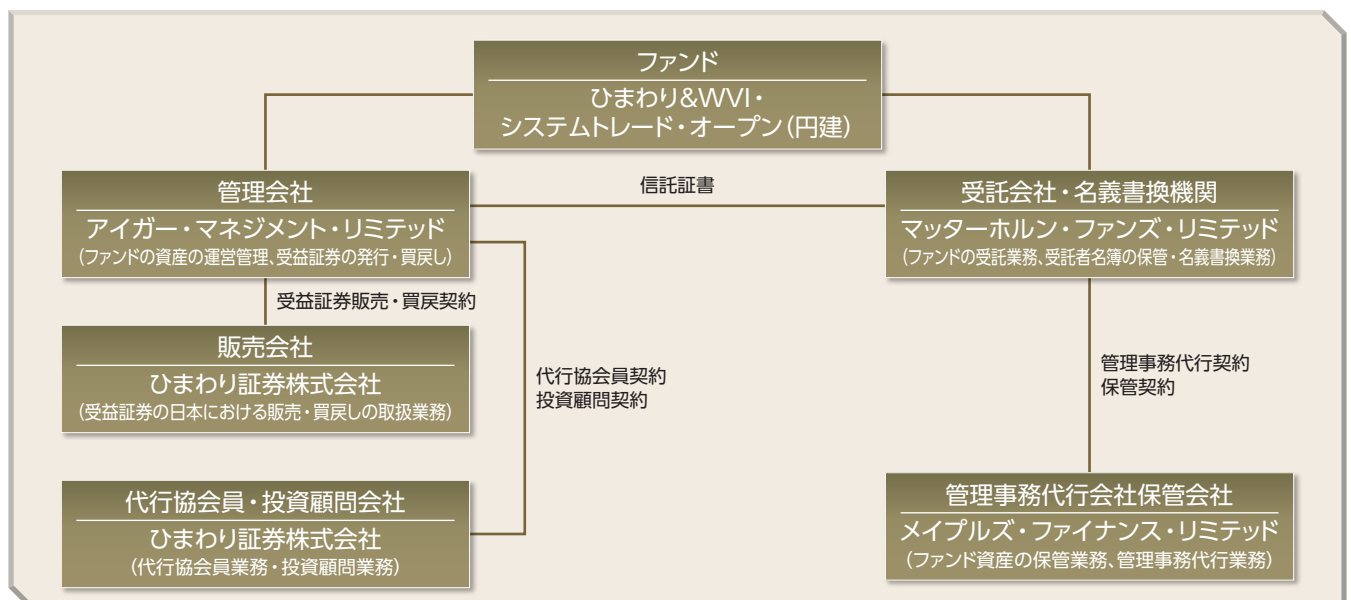
- ▶ 市場流動性の高い株価指数先物市場と為替市場でデイトレード運用を行うため、全持高(ポジション)は原則として毎営業日決済され、運用資産の高い流動性が確保されます。

※ アルゴリズム取引とは、コンピューターシステムが株価などに応じて、自動的に売買注文のタイミングや数量を決めて注文を繰り返す取引。

## 当ファンドの仕組み

当ファンドは、H&Wシステム・トレード・インコーポレイテッド(以下、「H&W社」といいます。)により発行される円建社債への投資を通じてWVC社の完全自動運用プログラムによる運用を実質的に行います。

- \* 当ファンドに対するシステム提供会社であるウエストビレッジキャピタル社(WVC社)はウエストビレッジインベストメント社(WVI社)からシステムの譲渡を受けた会社です。
- \* H&W社は、当ファンドが投資する社債を発行する会社になります。



# 完全自動運用プログラム

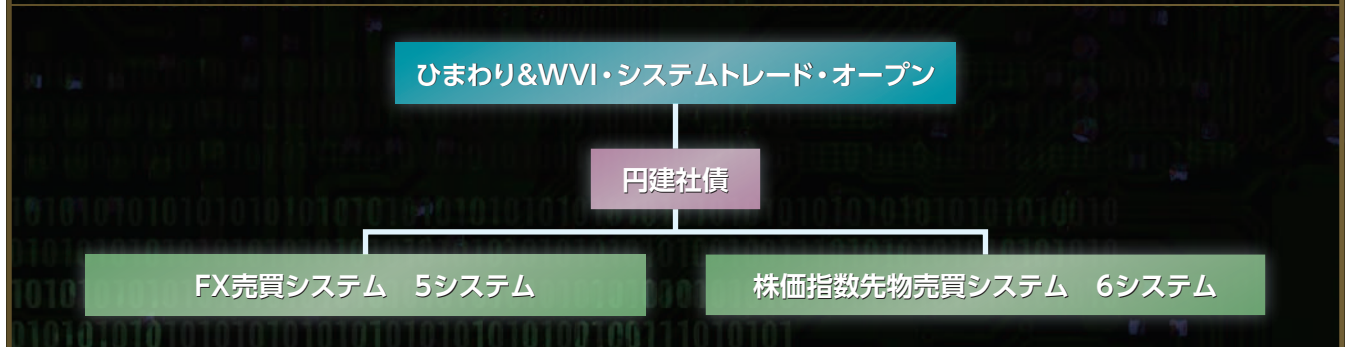
## <システムトレードについて>

システムトレードは、過去のデータを用いて検証し、その結果に基づいて構築した一定の売買ルールに従って客観的・機械的・継続的に売買を繰り返す投資手法です。

## <システムトレードの特長>

人間特有ともいえる感情の乱れのために、損失を拡大させたり、取引チャンスを逃してしまうというリスクを回避できます。

エントリー（トレード開始）からエグジット（損益確定）およびリスク管理にいたるまで、一連の売買ルールを設定した完全自動運用プログラムにより運用を行います。



## 売買システムの紹介(例)

### ■ 株価指数先物

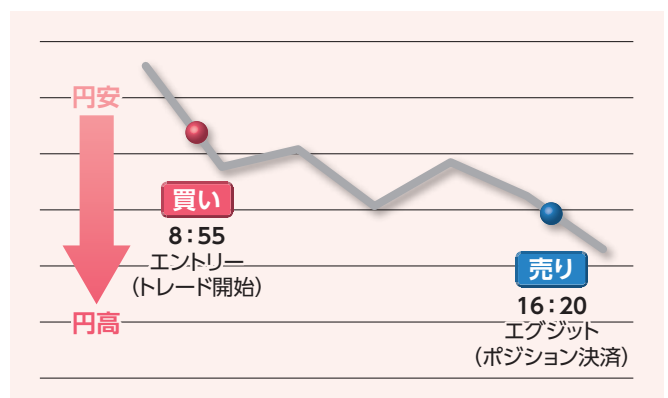
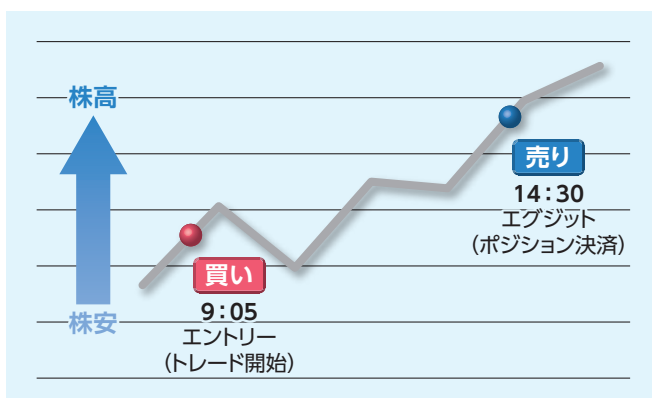
ソフトウェアA	市況およびボラティリティの変化に従ってパラメーターを調整しながら、値動きを自動的に追跡することを目指します。
ソフトウェアC	日経平均株価先物だけに焦点を合わせ、いくつかの市場のトレンドおよび動きに基づいて取引開始のタイミングを判断することを目指します。
ソフトウェアD	日々の市場のボラティリティに自動的に反応することにより収益機会を捉えることを目指します。投資の期間は非常に短期間です。

### ■ FX

ソフトウェアA	市場の特性に基づき、投資家心理の変化および市場の変則性を捉えることを目指します。
ソフトウェアD	ユーロ／米ドル市場の独自の市場の特性およびユーロ／米ドル市場とその他の市場間の相互作用に焦点を当てた逆張り戦略を利用します。

※ 採用されるシステムの数が増減することがあります。また、各売買システムは日々必ず取引をするとは限りませんので、予めご了承ください。

## デイトレードのイメージ(一例)





当ファンドの運用に利用する自動売買システムはウエストビレッジインベストメント社 (WVI社)が開発し、ウエストビレッジキャピタル社 (WVC社)に譲渡されたものです。

◆システムトレード分野のエキスパート

海外の有名システムトレード会社と業務提携を行い、売買システムの共同開発や日本におけるシステムトレード会社のトップ企業として活躍中。

◆自社独自の売買システム

海外との共同開発だけでなく、自社において独自の売買システム開発や売買シグナル配信サービス、プログラミング代行サービスを手がける。特に日本で数少ないEasyLanguage (システムトレード用プログラミング言語) スペシャリスト保有者が複数おり、システムトレード開発に強みを持つ。

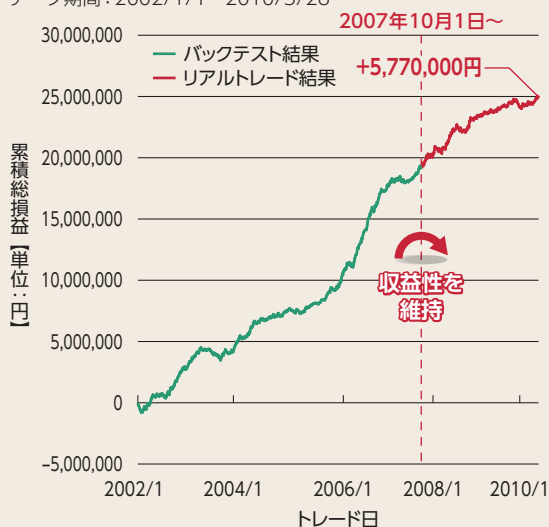
主なシステム開発者の略歴

西村 貴郁	投資助言会社West Village Investment株式会社代表取締役。米国大手税務事務所を皮切りに複数の税務事務所を経て、2005年6月に現社設立。2006年4月に米国の証券会社Strikerに自社開発システムを登録。同年8月に世界的な投資システム会社、米MESA SOFTWARE社と業務提携し、「R-MESA3 Nikkei」を共同開発。
成田 博之	ノースカロライナ大学卒業。国内外の金融機関でディーラーおよびトレーダーとして活躍。現在、当ファンドの売買システムを提供するWest Village Capital株式会社の代表取締役。システムトレードで世界的に有名なラリー・ウィリアムズやラルフ・ビンスとも親交が深い。

先物システム開発例

【東大Master 日経225先物 資産曲線グラフ】

取引対象：大証日経225先物  
データ期間：2002/1/1～2010/5/28

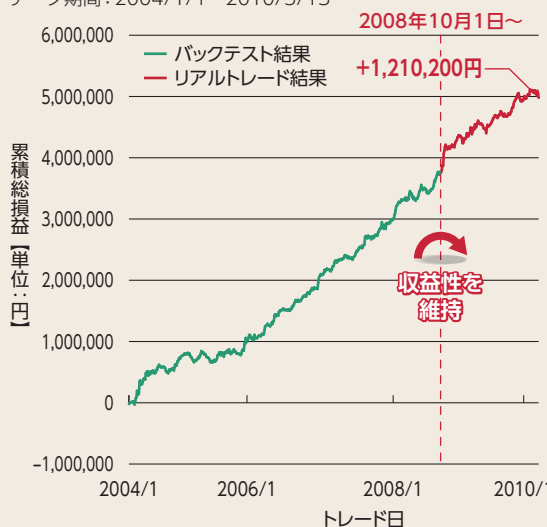


※ 日経225先物ラージを1枚取引した結果  
※ 手数料・スリッページ設定無し

為替システム開発例

【ドル円もん USD/JPY 資産曲線グラフ】

取引通貨ペア：米ドル/円  
データ期間：2004/1/1～2010/5/13



※ 10万ドル単位で取引した結果  
※ 1トレードあたりスプレッド2pips (10万ドルで2,000円) 控除済

※ 上記システムは実際に開発され、運用されているシステムになりますが、情報の公正・精度・完全または正確性について保証するものではありません。

※ 上記システムは当ファンドのシステムとは異なりますので、当ファンドのパフォーマンスを保証するものではありません。

## 当ファンドの主なリスクについて

### 当ファンドに関するリスク

当ファンドへの投資は、主に以下のリスクを伴います。このため、お申込みの際には、当ファンドのリスクをご認識・ご検討のうえ、慎重に投資のご判断を行っていただく必要があります。これらは主なリスクであり、以下に限定されるものではありません。リスクの詳細については投資信託説明書（交付目論見書）にてご確認ください。

#### ● 市場リスク

当ファンドはリスクを含む投資商品であり、その運用実績は市場環境等により変動します。買戻価格および早期・強制償還価格は購入時の純資産価値を下回る場合があります。

#### ● 信用リスク

先物および先渡契約を含むデリバティブの契約は通常、H&W社とブローカーとの間で交わされます。このため、H&W社はブローカーが支払い不能状況や、同様の状況に陥ることに伴うリスクがあります。これにはH&W社がブローカーに差し入れる証拠金も含まれます。当ファンドはブローカーの債務不履行リスクを負います。

#### ● 流動性リスク

当ファンドは、変動が激しく、また流動性がなくなることのある市場に投資する場合がありますため、市場の動向に対してポジションを清算することが不可能になり、あるいはそのためのコストが発生する場合があります。

当ファンドは毎営業日買戻ができるファンドではありません。買戻のお申込は月に一回しかできません。

#### ● 先物および先渡契約を含むデリバティブに関連する投資リスクおよび取引リスク

先物および先渡契約を含むデリバティブ商品の取引は、一定の特別かつ重大なリスクを伴い、H&W社を高い損失リスクにさらすことがあります。かかる商品の取引の主要なリスクは、時価のボラティリティおよびレバレッジです。

#### ● 自動取引システムに関するリスク

H&W社が利用する自動取引システムおよびH&W社が依拠する取引ソフトウェアは、人手の介入が限定的であり、システム故障のリスクならびに停電、コンピュータ・ハッカー、地震およびその他の天災ならびにその他の不測の事態によりH&W社がその資産を取引することができなくなることがあるリスク、また、自動取引システムにより維持されるデータの異常、損失または自動取引システムによるデータの受領の遅延により当ファンドが損失を被るリスクを有します。ウエストビレッジキャピタル株式会社とひまわり証券株式会社との間で締結されたライセンス契約は、ウエストビレッジキャピタル株式会社の選択により終了することがあり、かかる場合、ひまわり証券株式会社とH&W社との間で締結されたサブ・ライセンス契約が終了し、ひいては当ファンドが終了することになります。

#### ● 償還のリスク

当ファンドの純資産総額が20億円を下回った場合、その他目論見書に規定されている事由が発生した場合には、ファンドを早期償還する場合があります。償還時の純資産価額は投資時の価格を下回る場合があります。

#### ● 税務・会計リスク

当ファンドを購入した当時の税務・会計処理方法に関して、新たな解釈、法令などの改正が行われる可能性があります。

## お申込みメモ

名称	ひまわり&WVI・システムトレード・オープン
形態	ケイマン籍オープンエンド型公募契約型公社債外国投資信託(追加型)
申込期間	当初募集期間 2010年6月30日～2010年7月30日 継続募集期間 2010年8月2日～2011年4月28日
設定日	2010年8月2日
信託期間	2010年8月2日～2020年8月12日
信託財産留保額	ありません
お申込み／ご換金	10口以上1口単位 お申込／換金価格は、当該評価日の一口当たり純資産価格 ※当初価格は1口当たり1万円
評価日	原則、毎月15日(営業日でない場合は翌営業日)
クローズド期間	ありません
営業日	東京、香港およびケイマンにおける銀行営業日

## 費用について

申込手数料	3.15%(税抜き3.00%)を上限として販売会社が定める料率
管理会社報酬	純資産総額に対して年率上限2.0%(最低報酬額:年間14,400,000円)
受託会社報酬	純資産総額に対して年率上限0.10%(最低報酬額:年間84,000米ドル)
代行協会員報酬	純資産総額に対して、初年度は年率0.24%、2年目以降は0.30%
販売会社報酬	純資産総額に対して、初年度は年率0.48%、2年目以降は0.60%
投資顧問成功報酬	20%(ハイウォーターマーク方式)
投資顧問報酬	純資産総額に対して、初会計年度は年率0.80%、2年目以降は1.00%
ブローカー報酬	純資産総額に対して、初年度は年率0.96%、2年目以降は1.20%
その他費用等	H&W社のその他取引費用、監査報酬、弁護士費用、広告費用、印刷費用等の事務管理費用及び設立費用が支払われます。これらは、運用状況等により変動するものであり、事前に掛率、上限等を記載することができません。
課税関係	当ファンドは現行の投資方針および税法上、公募契約型公社債外国投資信託として取り扱われます。ただし、当ファンドの投資方針の変更や税制等の変更や将来における税務当局の判断により、税金の取扱いが変更になる可能性があります。

## 関係法人

管理会社	アイガー・マネジメント・リミテッド(ファンド資産の運用管理)
受託会社	マッターホルン・ファンズ・リミテッド(ファンドの受託業務)
保管会社／管理事務代行会社	メイプルズ・ファイナンス・リミテッド(ファンド資産の保管業務・管理事務代行業務)
代行協会員／投資顧問／ H&W社のブローカー	ひまわり証券株式会社
日本における販売会社	ひまわり証券株式会社